

# 防災マップの見方

## 防災マップとは

河川が氾濫した場合や山沿いで発生する土砂災害に備えて、被害の想定される区域などの情報を地図上に明示したものです。

また、近年各地で発生している様々な災害に対し、事前に備えることで日頃の心構えや被害を最小限にとどめるための基礎知識を掲載しました。ぜひご家庭内の目に付くところに常備していただき、災害予防対策に役立ててください。

## 防災マップの使い方

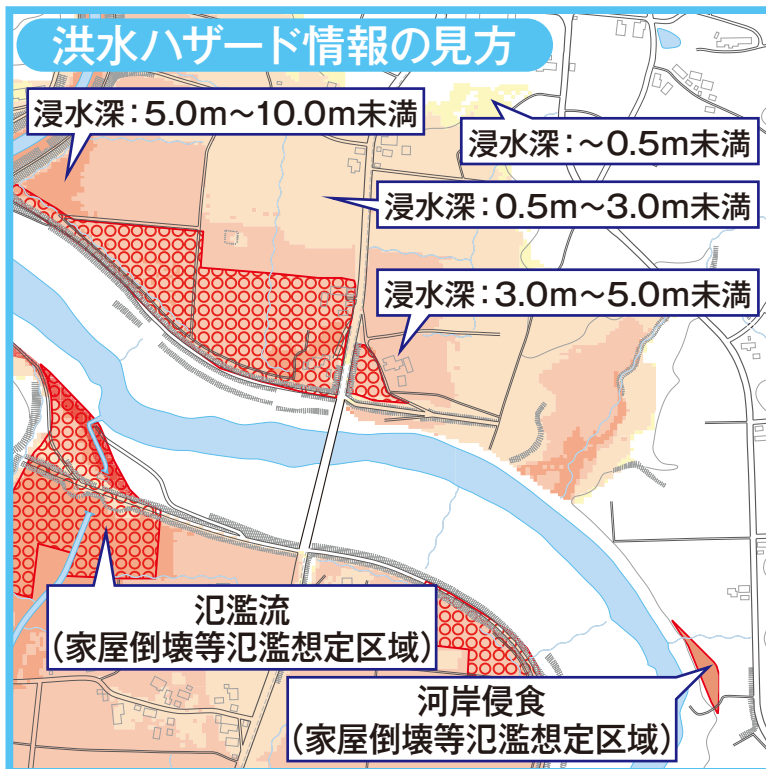
- ① 自宅の位置に印をつけましょう。
- ② 避難所に印をつけ、避難経路を記入しましょう。  
(避難経路を決める際には、できるだけ水路などを避けましょう)
- ③ 実際に避難経路を歩いて、安全を確認しましょう。
- ④ 家族で話し合い、いざという時の避難所や連絡の取り方などを確認しましょう。
- ⑤ 地域みなさんと、災害時や避難時に協力し合うよう話し合いましょう。

こちらからも確認できます

【山辺町地理情報システム】  
ハザードマップ

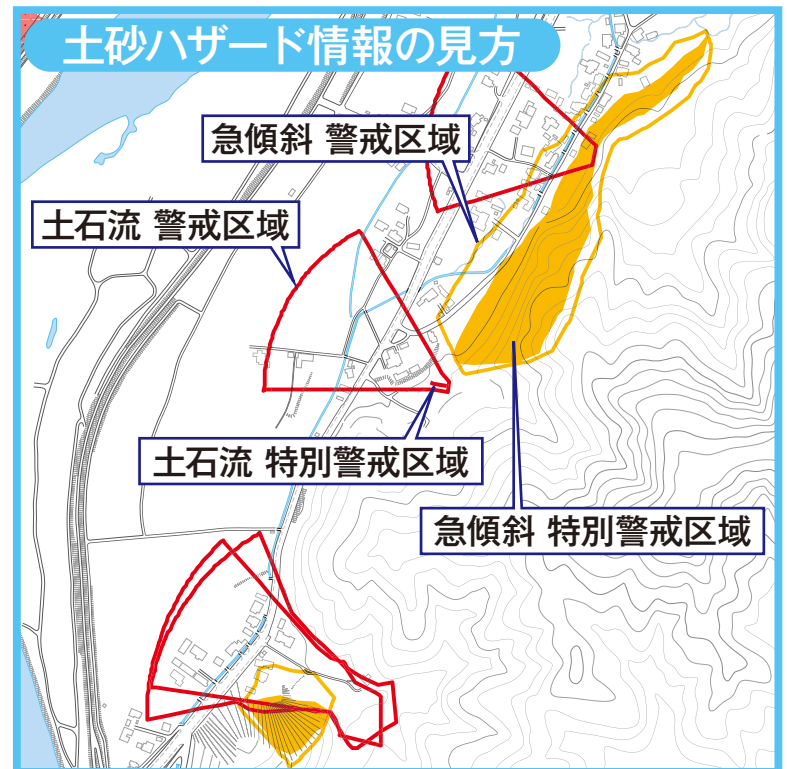


※令和8年3月から運用開始



※洪水・浸水害についての詳細は8頁をご確認ください。

洪水ハザード情報は浸水が想定される区域や浸水深などが記載されています。避難のポイントは浸水する前に避難することです。気象情報等に注意して早めの避難を心がけてください。特に家屋倒壊等氾濫想定区域では浸水深が大きく、早期の立退き避難が必要とされています。



※土砂災害についての詳細は9頁をご確認ください。

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。